

ジェネリック医薬品に関するアンケート（病院・診療所向け）結果

調査年月日：平成27年9月1日～平成27年9月30日

調査対象：奈良県内の病院及び診療所（歯科を除く）

I. 調査票の回収状況

調査対象病院・診療所数	全病院76施設、 診療所600施設（全1112施設中ランダムに抽出）
回答数	病院66施設、診療所385施設
回収率	66.7%

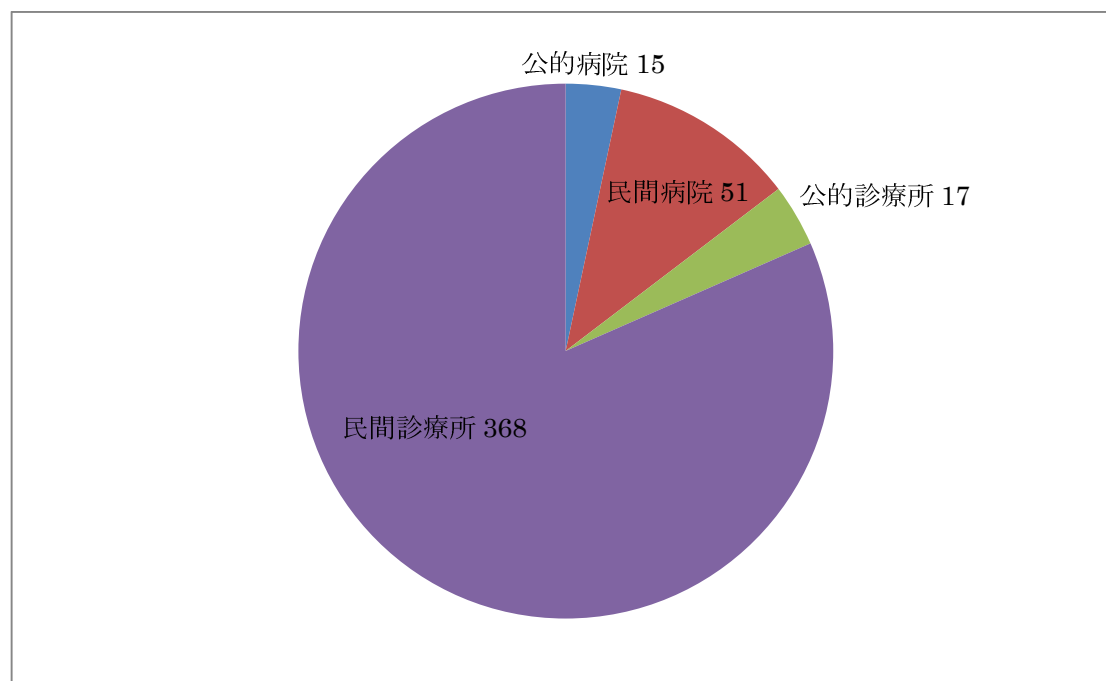
II. 質問に対する回答状況

問1 貴施設についてお尋ねします。あてはまるものを1つ選び、✓印を付けて下さい。

公的*：国公立、独立行政法人、日本赤十字病院、労災病院、済生会、医療保険関係 等

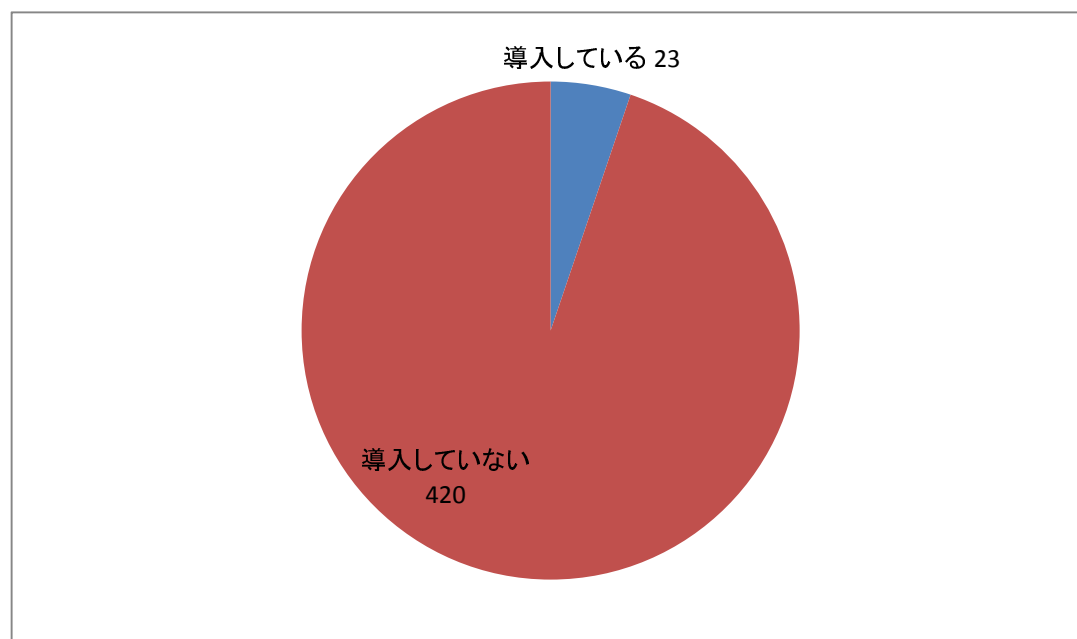
民間*：個人、医療法人、社会医療法人、社会福祉法人（済生会除く）、公益法人、
一般財団法人、一般社団法人、宗教法人 等

有効回答数：451



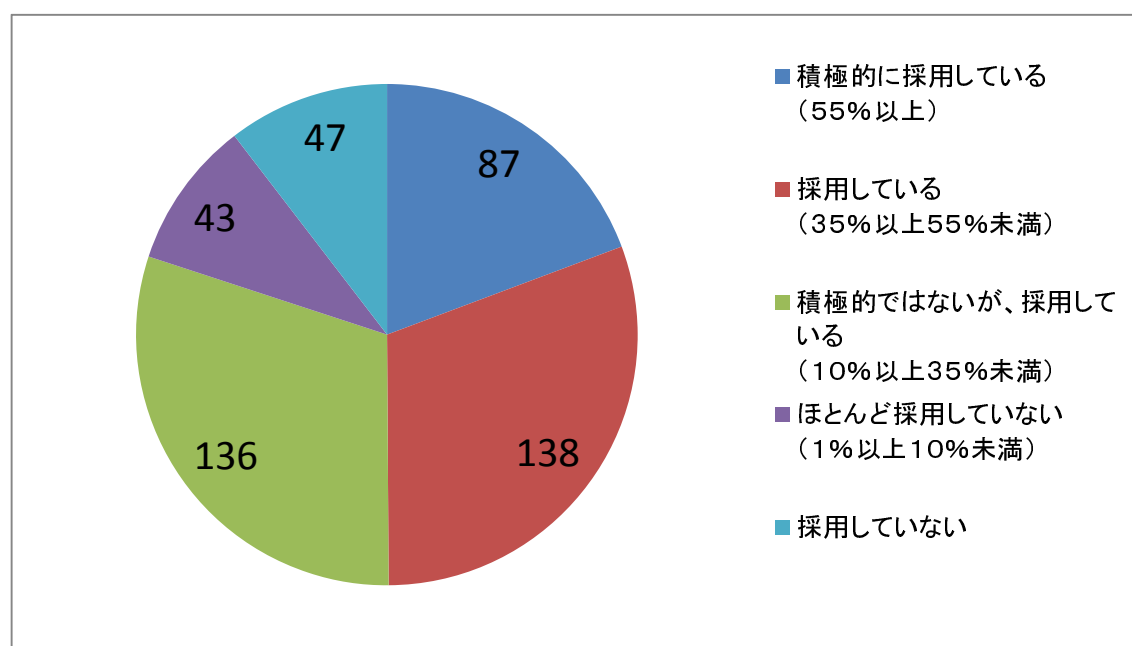
問2 DPC (診断群分類包括評価)の導入についてお尋ねします。あてはまるものを1つ選び、
 ✓印を付けて下さい。

有効回答数：443



問3 院内でのジェネリック医薬品の採用についてお尋ねします。あてはまるものを1つ選び、
 ✓印を付けて下さい。

有効回答数：451

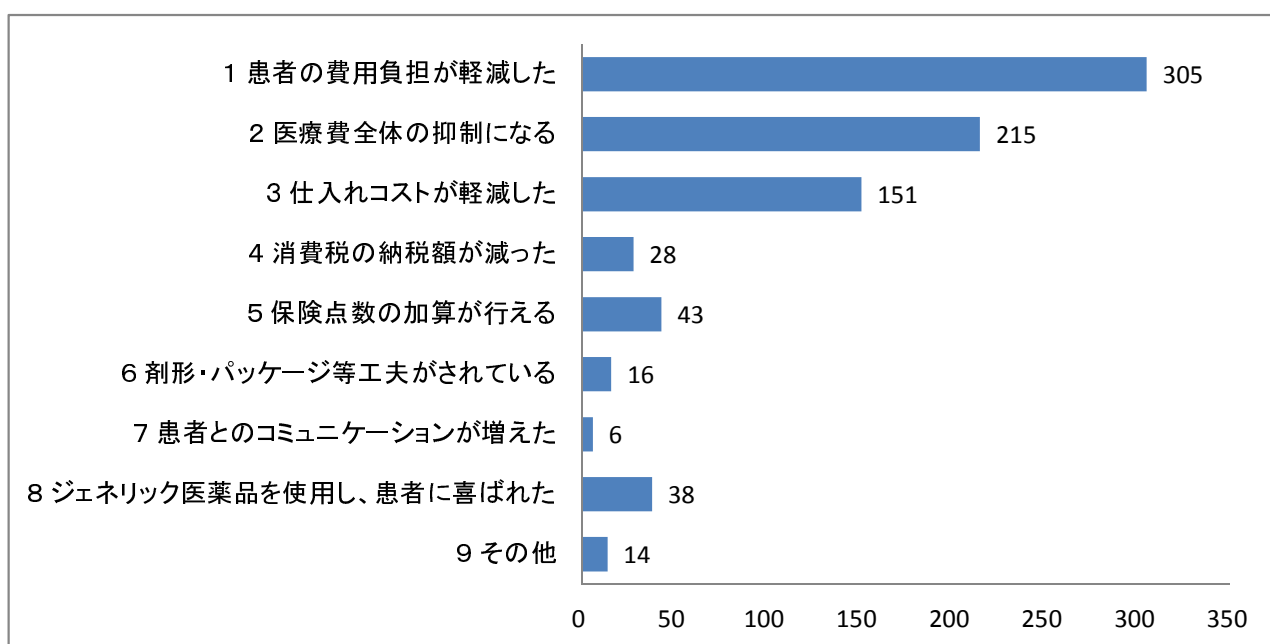


ジェネリック医薬品の採用とDPC導入の関係

	DPC導入している	DPC導入していない
積極的に採用している (55%以上)	14	71
採用している (35%以上55%未満)	6	128
積極的ではないが、採用している (10%以上35%未満)	3	131
ほとんど採用していない (1%以上10%未満)	0	43
採用していない	0	47

問4 問3で「1 積極的に採用している」「2 採用している」「3 積極的ではないが、採用している」と回答された施設様にお尋ねします。ジェネリック医薬品を取り扱う中で良かった点について、あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数選択可)

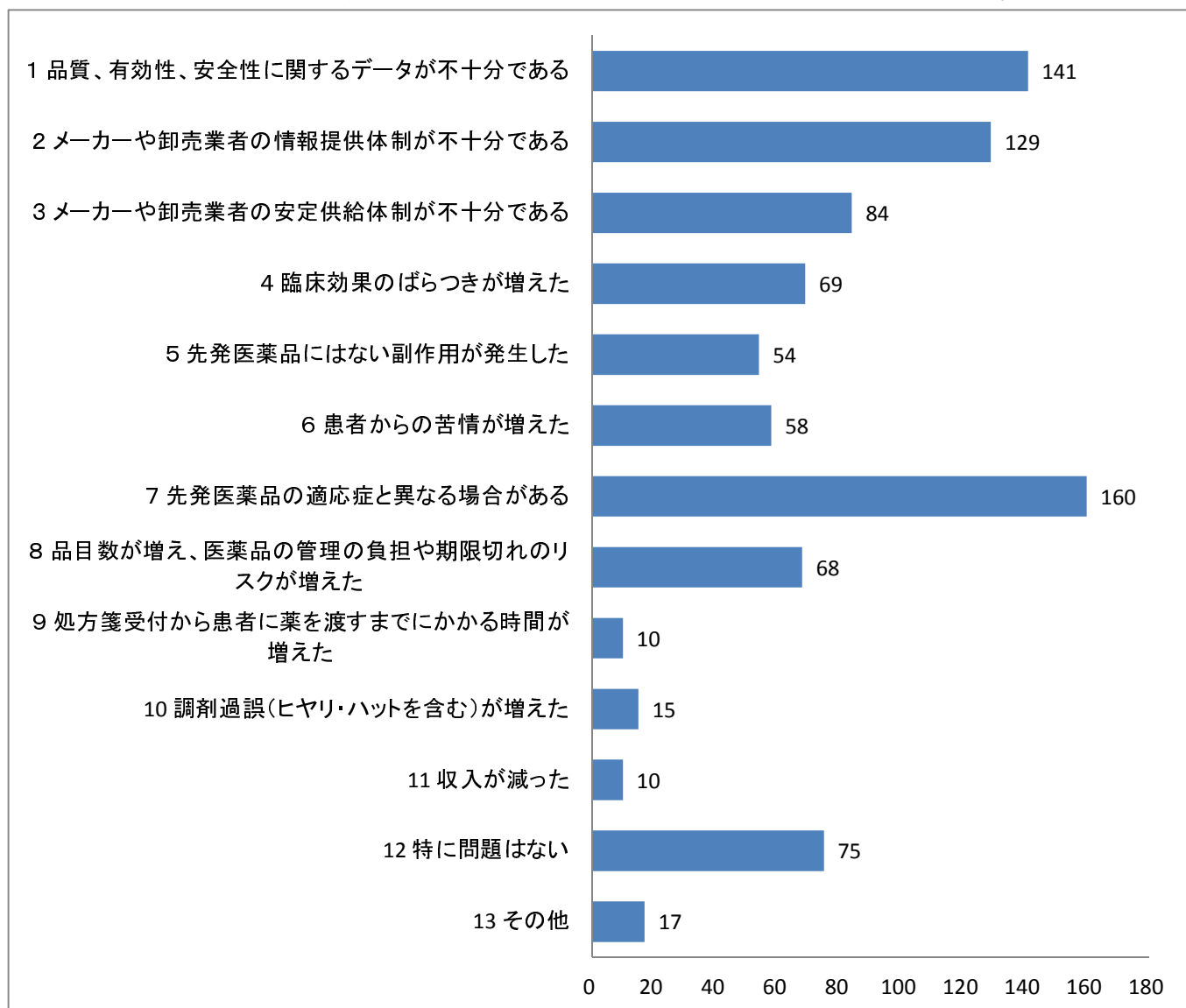
有効回答数：362



その他の内容 (抜粋)

- ・ 包括病棟で処方しやすくなった
- ・ 患者からの希望が増えている
- ・ 特になし

問5 問3で「1 積極的に採用している」「2 採用している」「3 積極的ではないが、採用している」と回答された施設様にお尋ねします。ジェネリック医薬品を取り扱う中で発生した問題点について、あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数選択可)

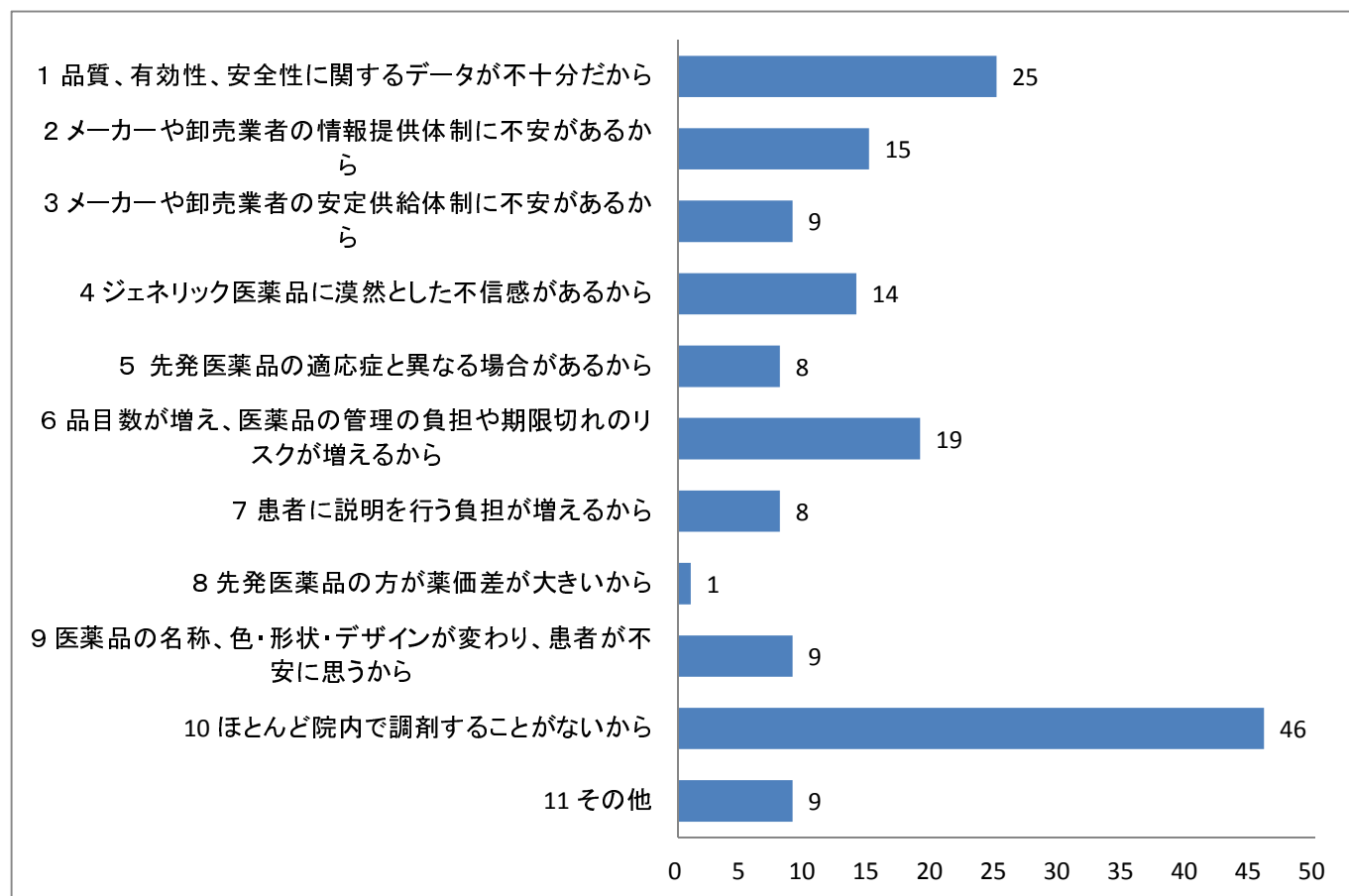


その他の内容 (抜粋)

- ・患者の現在飲んでる薬を調べるのに時間がかかる。
- ・先発品の名前で処方した場合でも、薬局でジェネリックになるので、薬の話をする時に患者と薬の名前が一致せず時間がかかる。
- ・ジェネリックのメーカーによりばらつきあり。
- ・薬の名前が覚えにくい。
- ・聞き慣れた薬品名から名称が変更になったため、看護師が混乱した。
- ・薬の名前がよく変更され患者様がまちがいやすくなる。
- ・オーダーするときに手間取る。同じ名前だがメーカー名で区別しているのでメーカーまで覚えておかないと正しくオーダー出来ない。
- ・院外薬局から変更した旨のファックスが届くが、薬局には手間が増えただろうと思う。

問6 問3で「4 ほとんど採用していない」「5 採用していない」と回答された施設様にお尋ねします。その理由について、あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数回答可)

有効回答数：89



その他の内容（抜粋）

- ・患者に後発品の使用の説明をしても先発品を希望されることが多い。
- ・患者から、効果や使用感について不満の訴えがある。
- ・ジェネリックの種類が多すぎる。
- ・医療スタッフの混乱をまねくため。

問7 問5 ①～⑥、問6 ①～④について、具体事例があれば記載をお願いします。(差し支えない範囲で結構です)

有効回答数：124

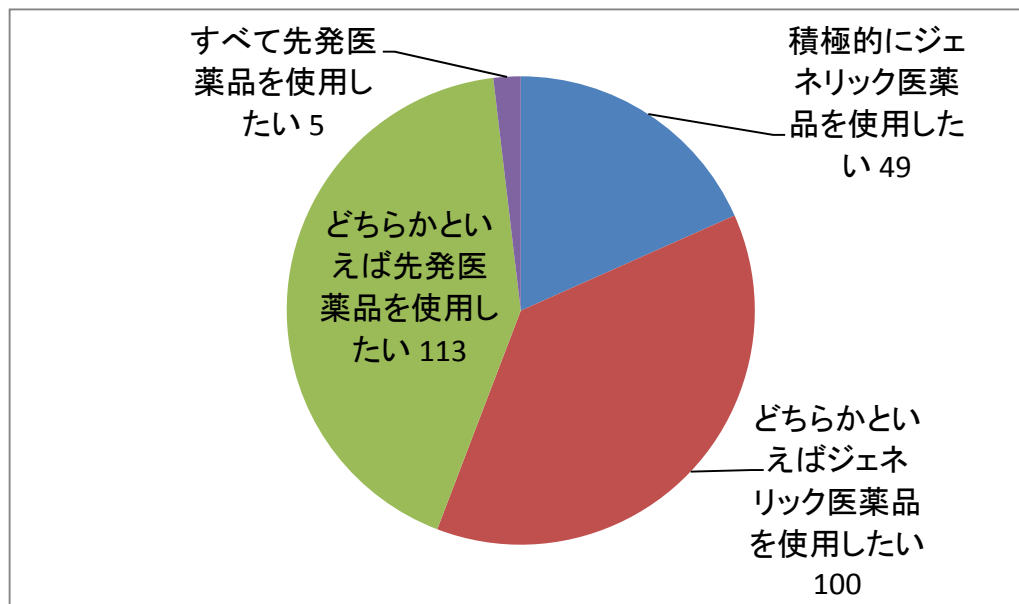
別紙1参照

問8～問13は、院外処方箋の発行率が40%以上の施設様にお尋ねします。

該当しない施設様は問14へ。

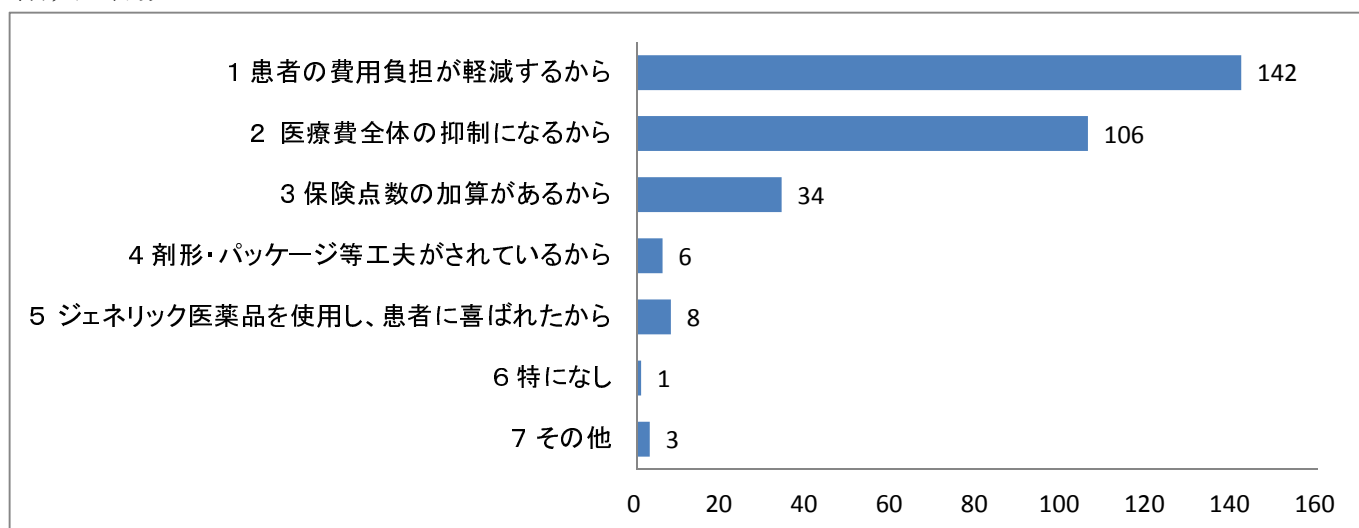
問8 院外処方箋による患者への投薬についてお尋ねします。あてはまるものを1つ選び、✓印を付けて下さい。

有効回答数：267



問9 問8で「1 積極的にジェネリック医薬品を使用したい」「2 どちらかといえばジェネリック医薬品を使用したい」と回答された施設様にお尋ねします。その理由について、あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数選択可)

有効回答数：149

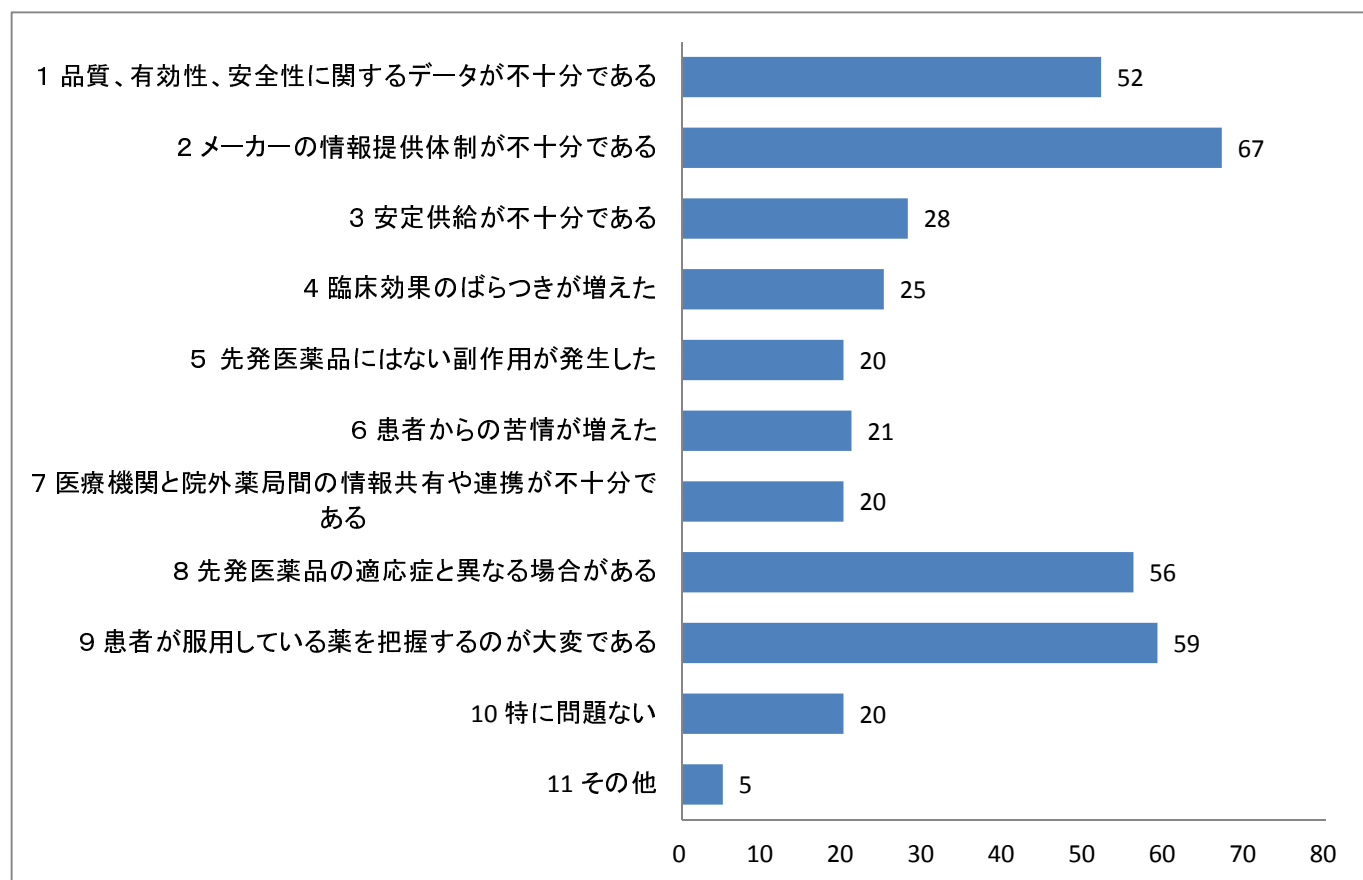


その他の内容 (抜粋)

- ・院内がジェネリックなので、入院時混乱が少ない。
- ・厚生労働省、行政、厚生局がこわいから、いうとおりにする。

問10 問8で「1 積極的にジェネリック医薬品を使用したい」「2 どちらかといえばジェネリック医薬品を使用したい」と回答された施設様にお尋ねします。処方後の問題点について、あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数選択可)

有効回答数 151

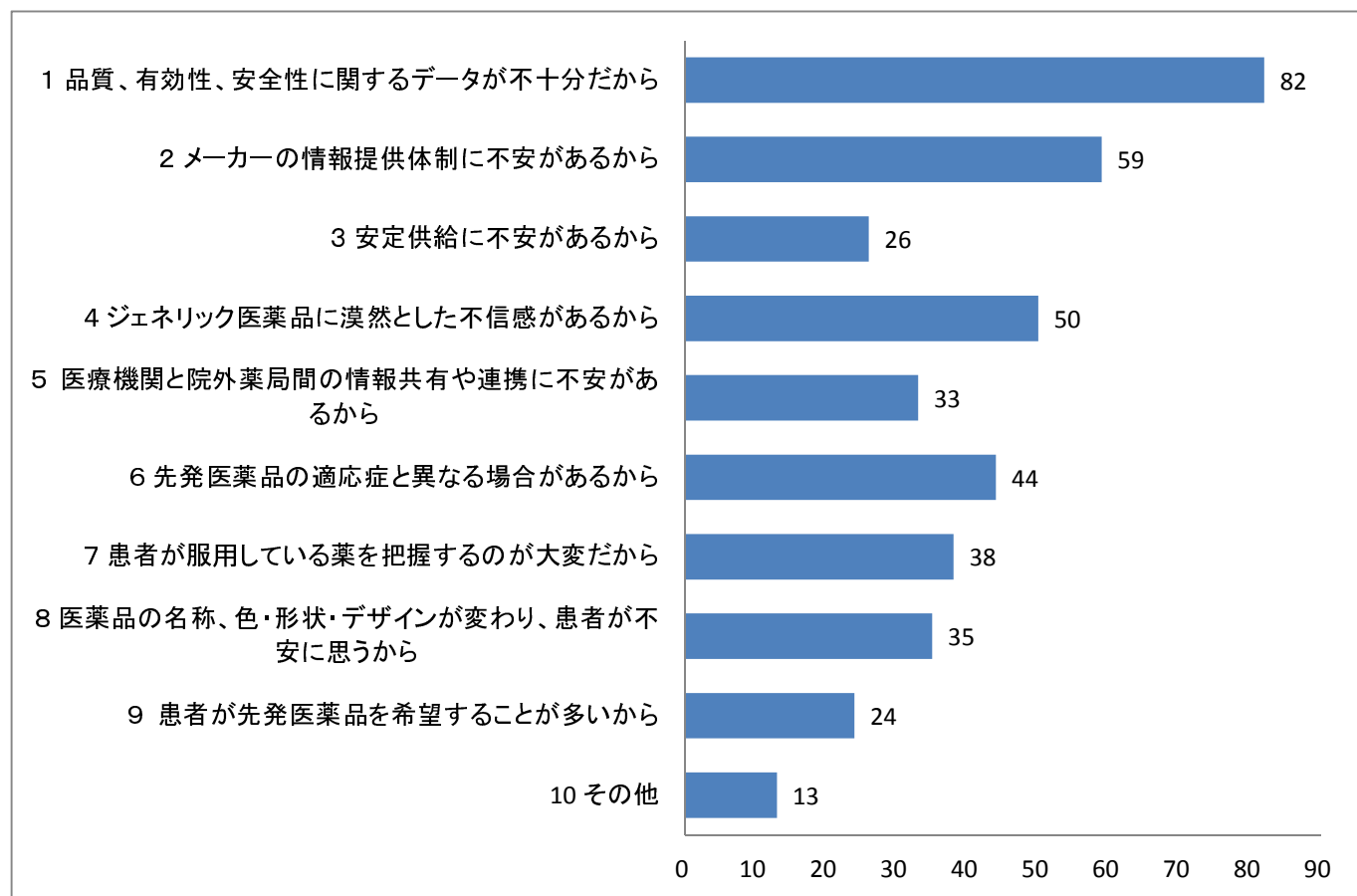


その他の内容

- ・後発品調剤に係る薬局と患者のトラブルが、処方元に持ち込まれる。
- ・すぐ製造中止になることがある。ころころメーカーが変更する。
- ・商品名が増加する。

問 11 問 8 で「3 どちらかといえば先発医薬品を使用したい」「4 すべて先発医薬品を使用したい」と回答された施設様にお尋ねします。その理由について、あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数回答可)

有効回答数：127



その他の内容 (抜粋)

- ・先発品では起こらない副作用が起こることを経験したことが何度かあったため。
- ・原則として患者の希望を尊重し、説明もしているが手間が煩雑と感じる。
- ・薬が溶けずに排泄された。
- ・疾患の中には先発品に対して同等性が示されだけのジェネリックで心もとないものがあるから。
- ・明らかに効果に差のあるものが存在するため。
- ・製薬会社との接点がほとんどなくなった。
- ・先発品の名前で薬効を覚えているので、ジェネリックからは何の薬か思い出しにくい。
- ・オーソライズドジェネリックは安心信頼できるが、原料の原産地など一考の価値ありとも考えられる。

問 12 問 10 ①～⑦、問 11 ①～⑤について、具体事例があれば記載をお願いします。(差し支えない範囲で結構です)

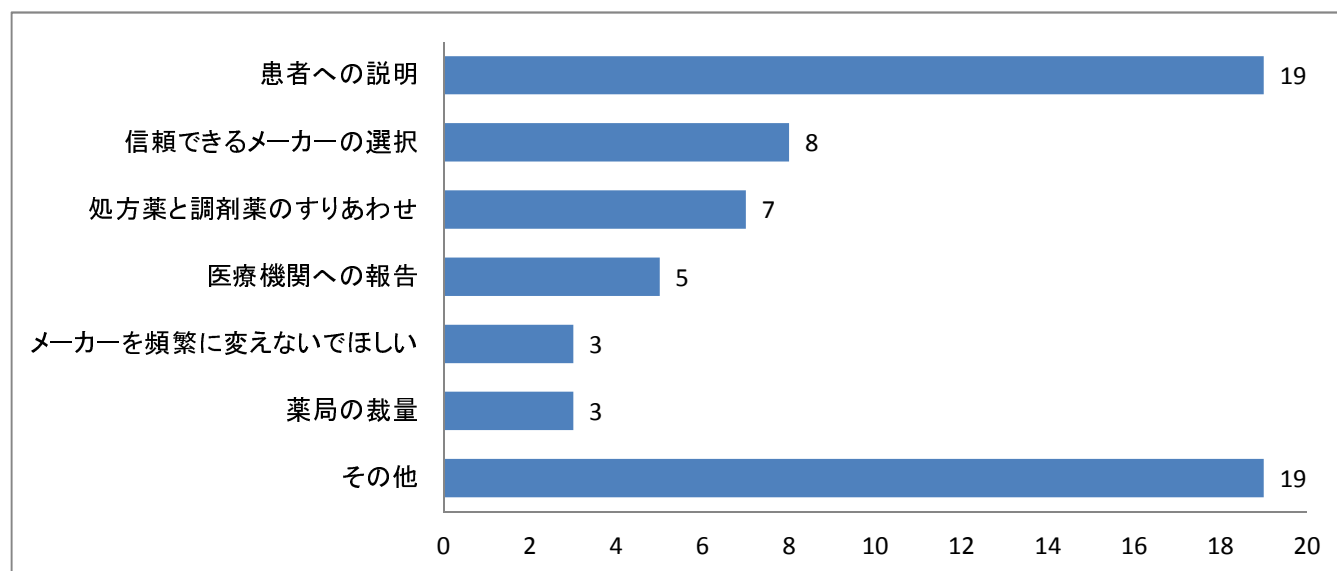
有効回答数：66

別紙2参照

問 13 ジェネリック医薬品の使用に関して、院外薬局に望むことがあれば記載をお願いします。

有効回答数：59

自由記載のため、回答内容により分類した。



患者への説明

- ・患者にきちんと説明して納得してもらってから、ジェネリックに変更してほしい。
- ・デメリットも説明してほしい。
- ・「全く同じで安いですよ」はNG。
- ・添加物の違い、味の違い等を説明してほしい。
- ・自由に選択してよい旨を説明してほしい。

信頼できるメーカーの選択

- ・品質の良いジェネリック医薬品を採用してほしい。

処方薬と調剤薬のすりあわせ

- ・処方薬と調剤された薬が異なり、患者と医師の疎通がとれないことがある。
- ・お薬手帳を活用し、医師に見せるように患者に言ってほしい。
- ・処方薬と調剤された薬のリストがほしい。

医療機関への報告

- ・どのジェネリックを出したか医療機関に報告すべき
- ・ジェネリック医薬品使用の場合の連絡が薬局からこない場合がある。(詳細な薬品名、メーカー名など)
- ・ジェネリックへの変更について、電話直接でなくてもFAXでも可。

- ・ジェネリックに変更しなかったときは、なぜ変更しなかったのかの理由もつけてほしい。
- ・メーカーを頻繁に変えないでほしい
- ・調剤薬局によっては後発品メーカーをコロコロ変えるところがある。見た目が違うので患者が混乱することがある

薬局の裁量

- ・薬局主導でジェネリックを勧めるのはおかしい。
- ・主治医に変更を告げずに調剤されると医師の裁量と誤解される。

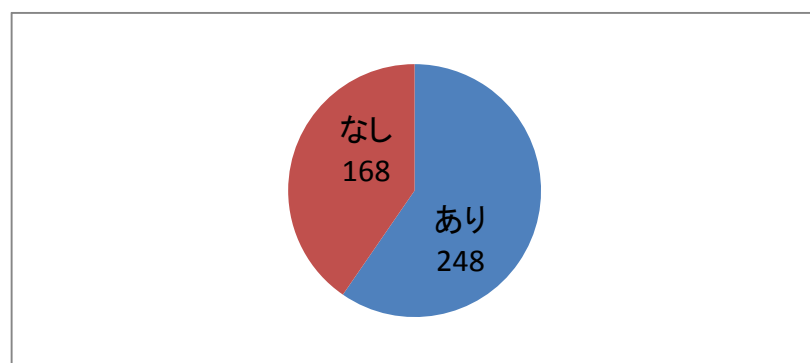
その他の内容（抜粋）

- ・多くの後発品メーカーが存在するが、院内採用後発品と同じメーカーの薬剤を採用して頂きたい。（門前のみでも）
- ・医師の意図が伝わらない。理解できない。
- ・添付文書に基づいた知識に偏重しており臨床的な知識に欠ける。
- ・副作用の説明も通り一遍で患者に必要な以上の不安を与える事もある。
- ・一般名処方をしたとき、ジェネリック医薬品を使用していただきたい。先発でもいいと考えられるのは最もだが、医療費を下げる目的での一般名処方と思われるので、後発品での対応をお願いしたい。
- ・先発医薬品から後発医薬品、後発医薬品の他社への変更等の場合、外観があまりにも異なる製品に変えると患者さんが不安感を持つことがある。
- ・ある一種類の薬剤に対して、いろいろなジェネリック薬品を持たないでほしい。
- ・先発品と適応が異なる場合、必ず問い合わせをして欲しい。
- ・先発品とジェネリックとの違いを公表した場合、その情報を添付してほしい。
- ・調剤薬局で「うちはその薬置いてませんので他店でもらって下さい」と言われることが何度かありましたが、在庫がない時も、分譲で確実に対応して欲しい。

以下はすべての施設様にお尋ねします。

問 14 ジェネリック医薬品から先発医薬品に戻したご経験はありますか。あてはまるものを1つ選び、✓印を付けて下さい。ある場合は、具体事例の記載をお願いします。（差し支えない範囲で結構です）

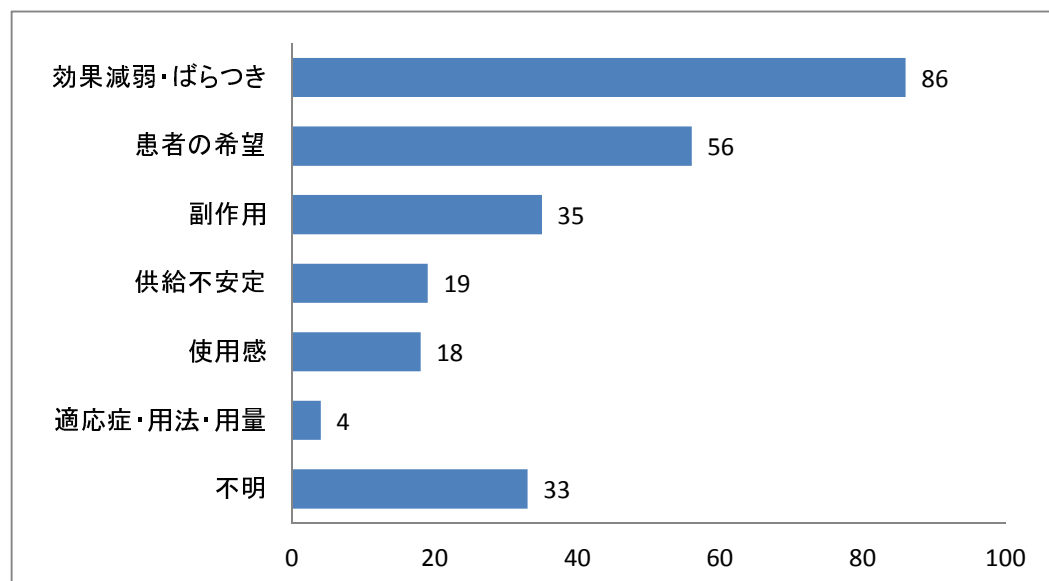
有効回答数：416



「あり」の具体例

有効回答数：234

自由記載のため、回答内容により分類した。



効果減弱・ばらつき

- ・患者より、「効き目が減った」「なんとなく効果が感じられない」等の訴え
- ・効果不十分と医師が判断

副作用

- ・外用でのかぶれ・かゆみ
- ・発疹
- ・体調不良・だるい
- ・胃腸障害・悪心
- ・肝障害
- ・アレルギー

供給不安定

- ・発売中止品が多い
- ・原薬の供給不足のため製品供給停止になった

使用感

- ・テープ剤がすぐはがれる
- ・飲みにくい（味・におい・口触り）
- ・シートから出しにくい
- ・点眼容器使いにくい
- ・半錠にしにくい
- ・アンプルカットしにくい

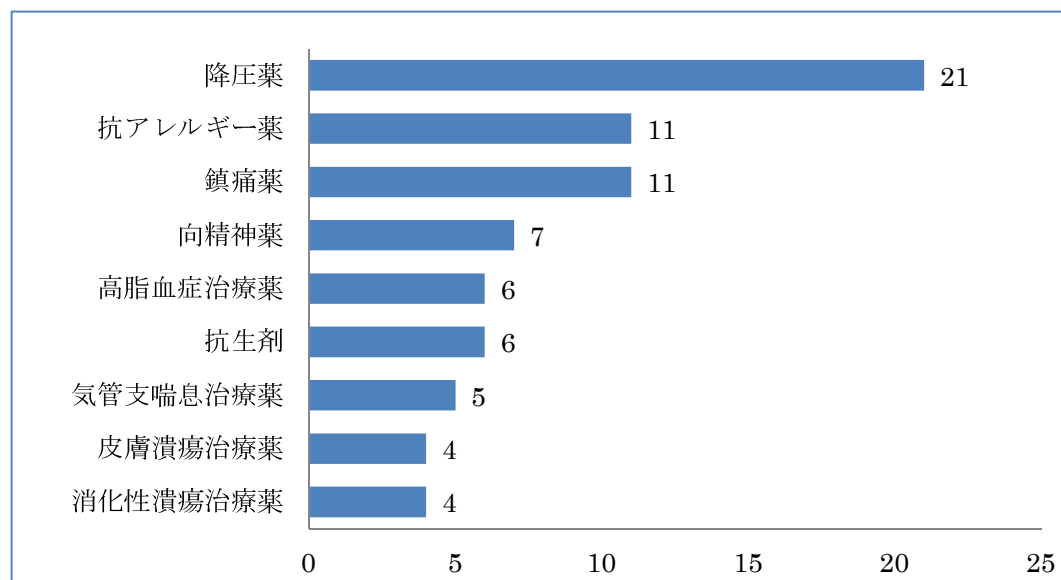
適応症・用法・用量

- ・先発医薬品と適応症、用法・用量が異なる

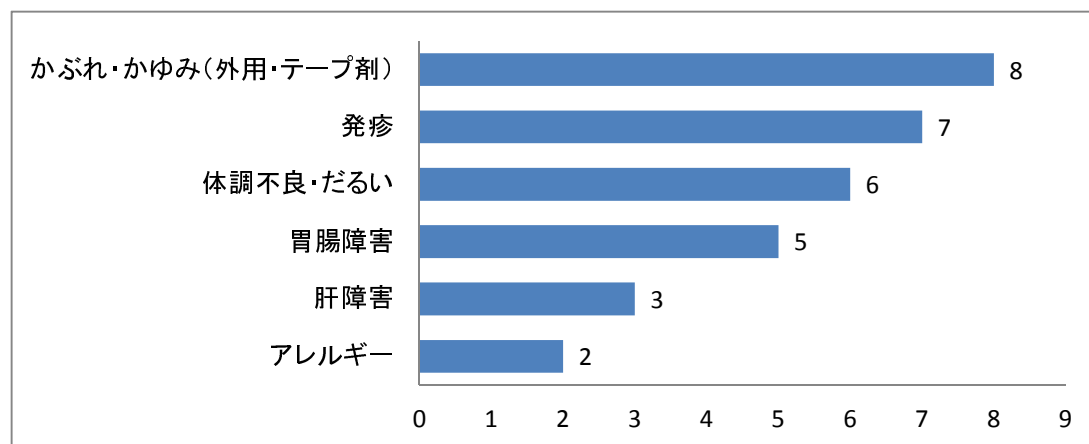
不明

- ・特に理由を記載していない

効果減弱・ばらつきの内訳（多かったもの）

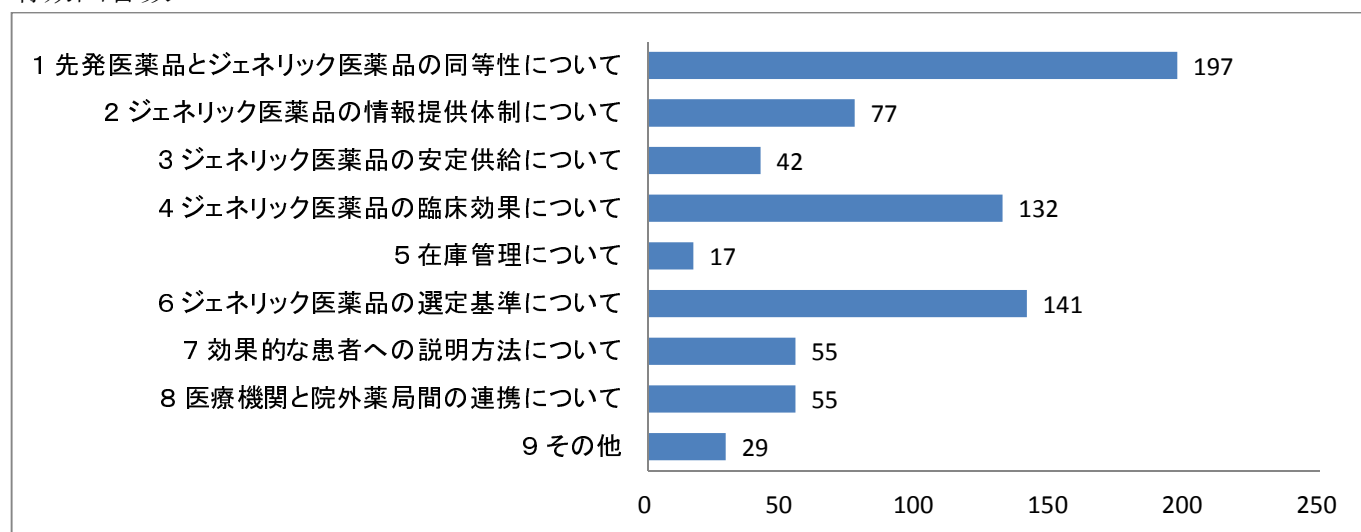


副作用（多かったもの）



問 15 本協議会ではジェネリック医薬品使用推進事業の一環として講演会の実施を検討しています。どのような内容であれば、参加してみたいですか。あてはまるものを選び、✓印を付けて下さい。(2つまで)

有効回答数：451



その他の内容（抜粋）

- ・プラセボ効果があればそのデータを知りたい。
- ・ジェネリック医薬品に対して患者側が十分理解しているか、また、患者側に十分その情報が伝達できているか等ご検討いただければと思います。
- ・患者様のジェネリックに対する偏見がまだまだ強く（安物で効果が弱いなど）、患者様への情報提供が必要と考える。
- ・あまり興味なし
- ・ジェネリックの安全性・品質保障（会社によりピンからキリまであるようだ。きちっとした品質の確認がとれているという保障。今のままでいくのなら品質のランク付けをして患者に選んでもらったらよいと思う。）
- ・ジェネリック医薬品使用時の問題事象
- ・医療費削減の効果について
- ・適応症の差について
- ・吸収率の差
- ・先発とジェネリックの違い、副作用や有害事象発生時の対応体制等、安心して使用出来る事説明。
- ・医薬品メーカーとしての在り方と淘汰について
- ・販売中止、流通停止等の多いメーカーは存続させない
- ・D○処方の変更時など、医療職員（医師・看護師など）に後発品名をどのようにして周知するか。
- ・潰瘍性大腸炎・クローン病等、難病にジェネリック使用が容認される理由を聞きたい。

別紙1、別紙2

具体事例について、真偽の検証を行っていないため、ホームページ上での公表はしておりません。詳細については、奈良県医療政策部薬務課薬事・献血係（0742-27-8670）まで、お問い合わせください。